

成果指標の目標達成効果率

目標達成効果率	0.8以上	: 目標達成に向けて十分な成果が認められる
	0.6~0.8未満	: 目標達成に向かう成果が認められるが十分でない面がある
	0.3~0.6未満	: 目標達成に向かう成果はあまり認められない
	0.3未満	: 目標達成に向かう成果はほとんど認められない

課題	成果指標	基準値 (19年度)	目標値 (25年度)	現状値(目標達成効果率)				
				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
1. 男女共同参画 社会の形成の ための理解の 促進	社会全体の中で男女の地位は平等であると思う人の割合	女性11.2% 男性26.3%	女性17.0% 男性28.0%	—	—	—		
	家庭生活の中で男女の地位は平等であると思う人の割合	女性27.6% 男性44.8%	女性37.0% 男性53.0%	—	—	—		
	社会通念・慣習・しきたりなどにおける男女の地位は平等であると思う人の割合	女性 8.1% 男性15.2%	数値目標の設定の促進に努める	—	—	—		
	職場の中で男女の地位は平等であると思う人の割合	女性17.7% 男性20.6%	女性20.0% 男性32.0%	—	—	—		
	男女共同参画に関する職員・教員研修の参加者数		参加者数が増加する	職員 0名(0.0) (実施なし) 教員19名(0.6)	職員65名(0.8) 教員19名(0.6)	職員43名(0.5) 教員20名(0.6)		
	男女共同参画に関する職員・教員研修の研修目的の達成度		研修の目的に沿った評価をした人の割合が年々増加する	職員 0%(0.0) (実施なし) 教員95%(0.8)	職員 85%(0.7) 教員100%(0.8)	職員 84%(0.8) 教員 85%(0.8)		
	学校教育の場で男女の地位は平等であると思う人の割合	女性63.4% 男性71.1%	女性65.0% 男性73.0%	—	—	—		

・現状値(目標達成効果率)の「—」となっている項目は、市民意識調査項目です。

・市民意識調査は、平成24年度の実施を予定しています。

成果指標の目標達成効果率

目標達成効果率	0.8以上	: 目標達成に向けて十分な成果が認められる
	0.6~0.8未満	: 目標達成に向かう成果が認められるが十分でない面がある
	0.3~0.6未満	: 目標達成に向かう成果はあまり認められない
	0.3未満	: 目標達成に向かう成果はほとんど認められない

課題	成果指標	基準値 (19年度)	目標値 (25年度)	現状値(目標達成効果率)				
				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
2. 可能性・個性を 発揮できる環境整備の 促進	市管理職に占める女性の割合／市職員に占める女性の割合	課長級以上0.2	0.36	0.23(0.19)	0.21(0.06)	0.12(0.0)		
	審議会等委員に占める女性の割合	25.0%	30.0%	27.0%(0.4)	27.7%(0.54)	30.6%(1.12)		
	女性委員ゼロの審議会等の割合	16.0%	年々減少し、ゼロに近づける	15.3%(0.04)	13.1%(0.18)	10.2%(0.36)		
	家族経営協定締結農家数	12戸	年々増加する	12戸(0.0)	12戸(0.0)	14戸(0.5)		
	防犯環境が「よい」と回答した女性の割合	23.2%	調査ごとに増加する	—	—	33.3%		
	女性の社会的チャレンジ支援の講座の実施回数	0回	1回以上実施する	0回(0.0)	2回(2.0)	1回(1.0)		

・現状値(目標達成効果率)の「—」となっている項目は、市民意識調査項目です。

・市民意識調査は、平成24年度の実施を予定しています。

成果指標の目標達成効果率

目標達成効果率	0.8以上	: 目標達成に向けて十分な成果が認められる
	0.6~0.8未満	: 目標達成に向かう成果が認められるが十分でない面がある
	0.3~0.6未満	: 目標達成に向かう成果はあまり認められない
	0.3未満	: 目標達成に向かう成果はほとんど認められない

課題	成果指標	基準値 (19年度)	目標値 (25年度)	現状値(目標達成効果率)				
				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
3. 家庭生活と社会生活の調和の促進	保育所入所待機児童数	21人	0人	80人(0.0)	126人(0.0)	139人(0.0)		
	家庭生活のための時間が取れていると感じている人の割合		女性88.0% 男性80.0%	—	—	—		
	市職員の性別育児休業取得率	女性100% 男性25.0%	女性90.0% 男性55.0%	女性100%(0.0) 男性0.0%(0.0)	女性100%(0.0) 男性5.6%(0.18)	女性100%(0.0) 男性0.0%(0.0)		
	市職員の性別介護休暇取得状況	女性0人 男性0人	女性、男性ともに取得を希望する人が取得できる	女性0人(—) 男性0人(—)	女性0人(—) 男性0人(—)	女性0人(—) 男性0人(—)		
	均等・両立推進企業表彰、千葉県男女共同参画推進事業所表彰の受賞企業数	0件	1件以上推薦する	0件(0.0)	0件(0.0)	0件(0.0)		
	家事諸項目(食事・掃除洗濯)の担当者が「夫婦とも同じ程度」と回答した人の割合	女性3.9% 男性9.4%	女性4.0% 男性10.0%	—	—	—		

・現状値(目標達成効果率)の「—」となっている項目は、市民意識調査項目です。

・市民意識調査は、平成24年度の実施を予定しています。

成果指標の目標達成効果率

目標達成効果率	0.8以上	: 目標達成に向けて十分な成果が認められる
	0.6~0.8未満	: 目標達成に向かう成果が認められるが十分でない面がある
	0.3~0.6未満	: 目標達成に向かう成果はあまり認められない
	0.3未満	: 目標達成に向かう成果はほとんど認められない

課題	成果指標	基準値 (19年度)	目標値 (25年度)	現状値(目標達成効果率)				
				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
4. 人権が守られる社会の形成	DVの被害経験(精神的、肉体的、性的)があると回答した女性の割合	精神的暴力7.1% 肉体的暴力3.9% 性的暴力 3.0%	調査ごとに減少する	—	—	—		
	セクシュアル・ハラスメントの被害経験(職場、学校、地域)があると回答した女性の割合	職場で: 26.4% 学校で: 4.5% 地域で: 5.1%	調査ごとに減少する	—	—	—		
5. 男女共同参画社会の形成に取り組む体制の強化	男女共同参画推進協議会の開催回数		複数回開催し推進計画等に関する状況を把握する	1回(0.5)	2回(1.0)	2回(1.0)		
	男女共同参画推進計画の進行状況についての公表の実施	0回	年1回公表する		1回公表(1.0)	1回公表(1.0)		

- ・現状値(目標達成効果率)の「—」となっている項目は、市民意識調査項目です。
- ・市民意識調査は、平成24年度の実施を予定しています。